

津市監第40号
令和6年11月5日

津市長 前 葉 泰 幸 様

津市監査委員 小 津 直 久
津市監査委員 安 藤 友 昭
津市監査委員 安 井 広 伸
津市監査委員 渡 邊 晃 一

令和5年度財産区会計歳入歳出決算の審査意見について（提出）

地方自治法（昭和22年法律第67号）第233条第2項の規定に基づき審査に付された下記の令和5年度財産区会計歳入歳出決算の審査意見を津市監査基準（令和2年津市監査委員告示第3号）に基づいて審査したので、別添のとおり意見を提出します。

記

- 1 令和5年度榊原財産区会計歳入歳出決算の審査意見
- 2 令和5年度河内財産区会計歳入歳出決算の審査意見
- 3 令和5年度波瀬財産区会計歳入歳出決算の審査意見

令和 5 年 度

榑 原 財 産 区 会 計
歳 入 歳 出 決 算 審 査 意 見 書

津 市 監 査 委 員

凡 例

- 1 文中及び表中に用いる金額は、原則として千円未満を四捨五入した。
- 2 文中及び表中に用いる比率は、原則として小数点以下第 2 位を四捨五入した。
- 3 文中及び表中に用いる面積は、原則として 1 平方メートル未満を四捨五入し、体積は、原則として 1 立法メートル未満を四捨五入した。
- 4 上記のように表記した結果、文中及び表中の合計数値とその内訳の累計値とは、一致しない場合がある。
- 5 表中の符号の用法は、次のとおりである。
 - 「0」「0.0」・・・金額、比率において、零又は該当数値がないもの若しくは単位未満のもの
 - 「－」・・・・・・・・比率において、±1,000%以上のもの
 - 「△」・・・・・・・・金額、比率において、負数のもの

令和5年度榊原財産区会計歳入歳出決算審査意見

第1 審査の対象

令和5年度榊原財産区会計歳入歳出決算、決算に関する証書類、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書である。

第2 審査の期間

令和6年8月30日から11月1日までである。

第3 審査の方法

同会計の歳入歳出決算について、主に次の諸点に着眼し、関係書類により照合審査するとともに、関係職員に説明を求め、例月現金出納検査、定期監査の結果も参考とした。

- 1 決算の計数は、正確に表示されているか。
- 2 決算書等は、法令の定めるところにより、適正に作成されているか。
- 3 予算は、適正に執行されているか。

第4 審査の結果

審査の結果、同会計の歳入歳出決算の計数は正確で、決算書等はいずれも適正に作成されており、予算の執行については、適正に執行されているものと認めた。歳入歳出決算の状況等は、次のとおりである。

1 歳入歳出決算の状況

歳入決算額は2,624万1千円（表1参照）、歳出決算額は2,358万7千円（表2参照）である。

歳入及び歳出それぞれの内訳は、次のとおりである。

(1) 歳入

歳入の内訳は表1のとおりで、決算額の主なものは、財産収入2,354万6千円である。

表1 歳入内訳表

(単位:千円・%)

区分 予算科目(款)	令和5年度				令和4年度		対前年度決算	
	予算現額	決算額			決算額	構成比	増減額	増減率
		金額	構成比	予算比				
財産収入	23,477	23,546	89.7	100.3	22,412	88.9	1,134	5.1
繰入金	884	884	3.4	100.0	0	0.0	884	0.0
繰越金	1	1,808	6.9	-	2,785	11.0	△977	△35.1
諸収入	2	3	0.0	150.0	9	0.0	△6	△66.7
計	24,364	26,241	100.0	107.7	25,206	100.0	1,035	4.1

(2) 歳 出

歳出の内訳は表 2 のとおりで、決算額の主なものは、財産費 1,955 万 9 千円、議会費 157 万 1 千円である。

表 2 歳出内訳表

(単位:千円・%)

区分 予算科目(款)	令和5年度				令和4年度		対前年度決算	
	予算現額	決算額			決算額	構成比	増減額	増減率
		金 額	構成比	執行率				
議 会 費	1,782	1,571	6.7	88.2	1,662	7.1	△ 91	△ 5.5
総 務 費	673	648	2.7	96.3	365	1.6	283	77.5
財 産 費	19,713	19,559	82.9	99.2	20,090	85.9	△ 531	△ 2.6
積 立 金	1,411	1,411	6.0	100.0	881	3.8	530	60.2
諸 支 出 金	700	398	1.7	56.9	399	1.7	△ 1	△ 0.3
予 備 費	85	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	24,364	23,587	100.0	96.8	23,398	100.0	189	0.8

2 財産に関する調書

財産の令和 5 年度中の増減高及び令和 5 年度末現在高は、次のとおりである。

(1) 公有財産

公有財産の状況は表 3 のとおりで、土地の合計面積が 91 平方メートル減少し、令和 5 年度末現在高は 1,226 万 3,927 平方メートルである。

立木の推定蓄積量は、令和 5 年度中に 2,076 立方メートル増加し、令和 5 年度末現在高は 13 万 6,028 立方メートルである。

出資による権利については、令和 5 年度中の増減はなく、令和 5 年度末現在高は 84 万円である。

表 3 公有財産の状況

区 分		単位	令和4年度末現在高	令和5年度中増減高	令和5年度末現在高
土 地	公共用財産(その他の施設)	m ²	918	0	918
	山 林	直 営	2,010,886	378,185	2,389,071
		貸 付	10,252,213	△ 378,276	9,873,937
	合 計	m ²	12,264,018	△ 91	12,263,927
立 木 の 推 定 蓄 積 量		m ³	133,952	2,076	136,028
出 資 に よ る 権 利		千円	840	0	840

(2) 物 品

物品は軽貨物自動車で、表 4 のとおり令和 5 年度中に増減はなく、令和 5 年度末現在高は 2 台である。

表 4 物品の状況

(単位：台)

区 分	令和4年度末現在高	令和5年度中増減高	令和5年度末現在高
軽 貨 物 自 動 車	2	0	2

(3) 基 金

基金は榊原財産区財政調整基金で、表 5 のとおり令和 5 年度中に 52 万 7 千円増加し、令和 5 年度末現在高は 3,689 万 5 千円である。

表 5 基金の状況

(単位：千円)

区 分	令和4年度末現在高	令和5年度中増減高	令和5年度末現在高
榊 原 財 産 区 財 政 調 整 基 金	36,368	527	36,895

3 まとめ

令和 5 年度決算の状況を見ると、安定した土地貸付収入の範囲内で必要経費を賄うとともに、財政調整基金残高も増加しており、持続可能な財政運営を堅持している。

引き続き、計画的な森林区画の確認、林道整備等を進めるなど、森林資源の適正な管理に努められたい。

令和 5 年 度

河 内 財 産 区 会 計
歳 入 歳 出 決 算 審 査 意 見 書

津 市 監 査 委 員

凡 例

- 1 文中及び表中に用いる金額は、原則として千円未満を四捨五入した。
- 2 文中及び表中に用いる比率は、原則として小数点以下第 2 位を四捨五入した。
- 3 文中及び表中に用いる面積は、原則として 1 平方メートル未満を四捨五入し、体積は、原則として 1 立法メートル未満を四捨五入した。
- 4 上記のように表記した結果、文中及び表中の合計数値とその内訳の累計値とは、一致しない場合がある。
- 5 表中の符号の用法は、次のとおりである。
 - 「0」「0.0」・・・金額、比率において、零又は該当数値がないもの若しくは単位未満のもの
 - 「－」・・・・・・・・比率において、±1,000%以上のもの
 - 「△」・・・・・・・・金額、比率において、負数のもの

令和 5 年度河内財産区会計歳入歳出決算審査意見

第 1 審査の対象

令和 5 年度河内財産区会計歳入歳出決算、決算に関する証書類、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書である。

第 2 審査の期間

令和 6 年 8 月 30 日から 11 月 1 日までである。

第 3 審査の方法

同会計の歳入歳出決算について、主に次の諸点に着眼し、関係書類により照合審査するとともに、関係職員に説明を求め、例月現金出納検査、定期監査の結果も参考とした。

- 1 決算の計数は、正確に表示されているか。
- 2 決算書等は、法令の定めるところにより、適正に作成されているか。
- 3 予算は、適正に執行されているか。

第 4 審査の結果

審査の結果、同会計の歳入歳出決算の計数は正確で、決算書等はいずれも適正に作成されており、予算の執行については、適正に執行されているものと認めた。歳入歳出決算の状況等は、次のとおりである。

1 歳入歳出決算の状況

歳入決算額は 25 万 2 千円（表 1 参照）、歳出決算額は 22 万 2 千円（表 2 参照）である。

歳入及び歳出それぞれの内訳は、以下のとおりである。

(1) 歳 入

歳入の内訳は表 1 のとおりで、決算額は、繰入金 22 万 5 千円、繰越金 2 万 7 千円である。

表 1 歳入内訳表

(単位：千円・%)

区分 予算科目(款)	令和5年度				令和4年度		対前年度決算	
	予算現額	決算額			決算額	構成比	増減額	増減率
		金 額	構成比	予算比				
財 産 収 入	1	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0
繰 入 金	188	225	89.3	119.7	188	75.5	37	19.7
繰 越 金	78	27	10.7	34.6	61	24.5	△ 34	△ 55.7
諸 収 入	1	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	268	252	100.0	94.0	249	100.0	3	1.2

(2) 歳 出

歳出の内訳は表 2 のとおりで、決算額の主なものは、議会費 20 万 2 千円、財産費 1 万 8 千円である。

表 2 歳出内訳表 (単位：千円・%)

区分 予算科目(款)	令和5年度				令和4年度		対前年度決算	
	予算現額	決算額			決算額	構成比	増減額	増減率
		金 額	構成比	執行率				
議 会 費	208	202	91.0	97.1	203	91.4	△ 1	△ 0.5
総 務 費	20	2	0.9	10.0	2	0.9	0	0.0
財 産 費	29	18	8.1	62.1	17	7.7	1	5.9
基金積立金	1	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0
予 備 費	10	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	268	222	100.0	82.8	222	100.0	0	0.0

2 財産に関する調書

財産の令和 5 年度中の増減高及び令和 5 年度末現在高は、次のとおりである。

(1) 公有財産

公有財産の状況は表 3 のとおりで、土地と建物の面積に増減はなく、令和 5 年度末現在高は、土地が 13 万 278 平方メートル、建物が木造 1 棟 63 平方メートルである。

立木の推定蓄積量は、令和 5 年度中に 349 立方メートル増加し、令和 5 年度末現在高は 2 万 4,844 立方メートルである。

表 3 公有財産の状況

区 分			単位	令和4年度末現在高	令和5年度中増減高	令和5年度末現在高
土地	山	林	m ²	130,278	0	130,278
建物	河 内 公 民 館		m ²	63	0	63
立 木 の 推 定 蓄 積 量			m ³	24,495	349	24,844

(2) 基 金

基金は河内財産区財政調整基金で、表 4 のとおり令和 5 年度中に 22 万 5 千円減少し、令和 5 年度末現在高は 313 万 8 千円である。

表 4 基金の状況 (単位：千円)

区 分	令和4年度末現在高	令和5年度中増減高	令和5年度末現在高
河内財産区財政調整基金	3,362	△ 225	3,138

3 まとめ

令和 5 年度決算を見ると、財政調整基金からの繰入金が歳入全体の 89.3 パーセントを占めており、繰入金に頼った財政運営が続いている。

新たな歳入確保策を検討するなど、持続可能な財政運営の在り方を模索しつつ、森林資源の適正な管理に努められたい。

令和 5 年 度

波 瀬 財 産 区 会 計
歳 入 歳 出 決 算 審 査 意 見 書

津 市 監 査 委 員

凡 例

- 1 文中及び表中に用いる金額は、原則として千円未満を四捨五入した。
- 2 文中及び表中に用いる比率は、原則として小数点以下第 2 位を四捨五入した。
- 3 文中及び表中に用いる面積は、原則として 1 平方メートル未満を四捨五入し、体積は、原則として 1 立法メートル未満を四捨五入した。
- 4 上記のように表記した結果、文中及び表中の合計数値とその内訳の累計値とは、一致しない場合がある。
- 5 表中の符号の用法は、次のとおりである。
 - 「0」「0.0」・・・金額、比率において、零又は該当数値がないもの若しくは単位未満のもの
 - 「－」・・・・・・・・比率において、±1,000%以上のもの
 - 「△」・・・・・・・・金額、比率において、負数のもの

令和5年度波瀬財産区会計歳入歳出決算審査意見

第1 審査の対象

令和5年度波瀬財産区会計歳入歳出決算、決算に関する証書類、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書である。

第2 審査の期間

令和6年8月30日から11月1日までである。

第3 審査の方法

同会計の歳入歳出決算について、主に次の諸点に着眼し、関係書類により照合審査するとともに、関係職員に説明を求め、例月現金出納検査、定期監査の結果も参考とした。

- 1 決算の計数は、正確に表示されているか。
- 2 決算書等は、法令の定めるところにより、適正に作成されているか。
- 3 予算は、適正に執行されているか。

第4 審査の結果

審査の結果、同会計の歳入歳出決算の計数は正確で、決算書等はいずれも適正に作成されており、予算の執行については、適正に執行されているものと認めた。歳入歳出決算の状況等は、次のとおりである。

1 歳入歳出決算の状況

歳入決算額は76万6千円（表1参照）、歳出決算額は69万5千円（表2参照）である。

歳入及び歳出それぞれの内訳は、以下のとおりである。

(1) 歳入

歳入の内訳は表1のとおりで、決算額の主なものは、繰入金45万円、財産収入20万7千円である。

表1 歳入内訳表

(単位:千円・%)

区分 予算科目(款)	令和5年度				令和4年度		対前年度決算	
	予算現額	決算額			決算額	構成比	増減額	増減率
		金額	構成比	予算比				
財産収入	210	207	27.0	98.6	155	24.3	52	33.5
繰入金	506	450	58.7	88.9	470	73.7	△20	△4.3
繰越金	30	36	4.7	120.0	13	2.0	23	176.9
諸収入	72	72	9.4	100.0	0	0.0	72	0.0
計	818	766	100.0	93.6	638	100.0	128	20.1

(2) 歳 出

歳出の内訳は表 2 のとおりで、決算額は、議会費 47 万 5 千円、総務費 21 万 9 千円である。

表 2 歳出内訳表

(単位:千円・%)

区分 予算科目(款)	令和5年度				令和4年度		対前年度決算	
	予算現額	決算額			決算額	構成比	増減額	増減率
		金 額	構成比	執行率				
議 会 費	537	475	68.3	88.5	485	80.6	△ 10	△ 2.1
総 務 費	231	219	31.5	94.8	117	19.4	102	87.2
予 備 費	50	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	818	695	100.0	85.0	602	100.0	93	15.4

2 財産に関する調書

財産の令和 5 年度中の増減高及び令和 5 年度末現在高は、次のとおりである。

(1) 公有財産

公有財産の状況は表 3 のとおりで、土地の合計面積に増減はなく、令和 5 年度末現在高は 100 万 9,635 平方メートルである。

立木の推定蓄積量は、令和 5 年度中に 2,132 立方メートル増加し、令和 5 年度末現在高は 13 万 6,519 立方メートルである。

出資による権利については、増減はなく、令和 5 年度末現在高は 58 万 6 千円である。

表 3 公有財産の状況

区 分		単位	令和4年度末現在高	令和5年度中増減高	令和4年度末現在高
土 地	宅 地	m ²	1,208	0	1,208
	雑 種 地 ・ 原 野	m ²	887	0	887
	山 林	直 営	1,006,356	0	1,006,356
		貸 付	1,184	0	1,184
	合 計		1,009,635	0	1,009,635
立 木 の 推 定 蓄 積 量		m ³	134,387	2,132	136,519
出 資 に よ る 権 利		千円	586	0	586

(2) 基 金

基金は波瀬財産区財政調整基金で、表 4 のとおりで、令和 5 年度中に 44 万 4 千円減少し、令和 5 年度末現在高は 1,098 万 8 千円である。

表 4 基金の状況

(単位：千円)

区 分	令和4年度末現在高	令和5度中増減高	令和5年度末現在高
波瀬財産区財政調整基金	11,433	△ 444	10,988

3 まとめ

令和5年度決算を見ると、財政調整基金からの繰入金が歳入全体の58.7パーセントを占めており、繰入金に頼った財政運営が続いている。

新たな歳入確保策を検討するなど、持続可能な財政運営の在り方を模索しつつ、森林資源の適正な管理に努められたい。